

# 「景観に関する意向調査」の結果をお知らせします

約4割が袋井市が美しいと実感。景観づくり活動への参加意欲も高い。

④ 都市計画課計画係 44 3122

市では、7～8月に、市内在住の18歳以上の方(一般)と中学生(中学生)を対象に「市の景観に関する意向調査」を行いました。

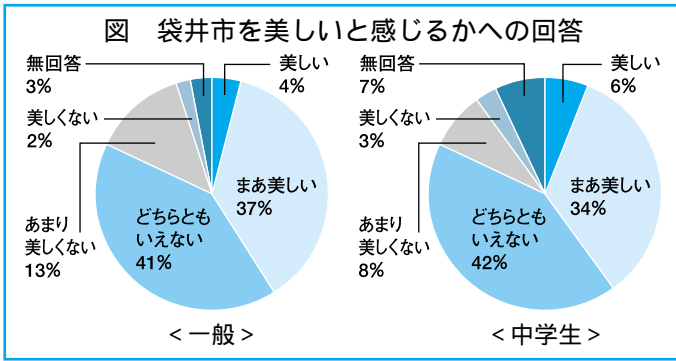
この調査は、市民の皆さんの景観に関する考え方を把握し、今後の景観計画策定に生かしていくために行いました。ご協力ありがとうございました。

調査人数 一般：3,000人  
中学生：781人  
回答人数 一般：1,007人  
中学生：692人  
回答率 一般：33・7%  
中学生：88・6%

## 袋井市を美しいと感じるか。また、その理由は？

袋井市を美しいと感じるかの質問では、一般の41%、中学生の40%から「美しい」「まあ美しい」との回答が得られました(下図参照)。

美しいと感じる理由では、一般・中学生とも「森林や樹木など自然の緑が保全されている」「田畑がたくさん保全されている」



「が上位に挙げられました。一方、美しくないと感じる理由では、一般・中学生とも「川や海の水が汚くなった」「一番を占め、次いで一般では「街並みに統一感がなくなった」、周辺環境との調和がなくなった」「まちに「こみが多くなった」が、中学生では「まちに「こみが多くなった」「森林や樹木など自然の緑が少なくなった」が上位に挙げられました。

## 今後も残していきたい景観、好ましくない景観は？

今後も残していきたい美しい景観は、一般では「旧東海道の松並木」「遠州灘海岸」「法多山周辺」などの歴史や文化を感じる景観が上位に挙げられ、中学生では「エコパスタジアム周辺」「コスモス畑」「ほたるの里(宇刈川上流)」などの施設や自然景観が上位に挙げられました。

## 美しく潤いある景観づくりのために必要な取り組みは？

景観を美しく潤いあるものにするために必要な取り組みは、一般・中学生とも「森林・里山水などの自然環境を保全する」「歴史的・文化的な建物を保全・管理する」「地域のシンボルとな

っている古木・大木、寺社の森などを保全管理する」「田畑などの農地を保全・管理する」などの取り組みが上位に挙げられました。

## 景観づくりへの市民活動の参加意向は？

景観づくりにかかわる市民活動に参加したいかを尋ねた質問では、一般の66%、中学生の71%から「道路や河川、街中などの清掃」「緑の手入れや花壇造り」などの何らかの活動に参加したいとの回答が得られました。また、「参加はしないが興味はあるので情報がほしい」(一般17%、中学生8%)を含めると、一般・中学生とも約8割が景観づくりに向けた市民活動に関心を持つていることが分かりました。

結果は、市役所2階情報公開コーナー、支所1階ロビー、月見の里学遊館1階市民サロン、市ホームページ(<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>)などでもご覧になれます。

## 景観づくり講演会を開催します

美しい景観を守り育てるために私たちができること、地域の特性にあった景観づくりなどについて考えてみませんか。

日 平成20年1月20日(日)  
時 午後1時30分～3時30分  
所 月見の里学遊館うさぎホール  
演題 袋井市の美しい景観づくりを考える

講師 片山和俊さん(東京芸術大学美術学部建築科教授)  
・袋井市都市景観デザインコンセプト懇話会(委員長)



申し込みは不要です。直接会場へお越しください。農村景観風景画・写真コンクール優秀作品の表彰も併せて行います。  
④ 都市計画課計画係 44 3122